

としょかん 100 周年 2018 年 12 月 1 日、鹿島市民図書館は 100 周年を迎えました。

私と図書館

～Vol.13～

図書館との思い出をまだまだ募集中！
館内の応募箱またはメールにてご応募ください。
メールアドレス：kashimal@theia.ocn.ne.jp

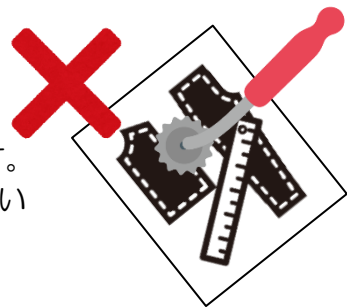
私の家は市図書館に約 200mほどにある。文筆活動をしているので調べ物に図書は欠かせないので度々お世話になっている。自分で探すのも楽しみで、関連の図書にも目が行くことも多い。なかなか見つからない時は、係員に尋ねると、該当の書架まで案内していただくなどしてもらう。

インターネットでも調べるが、図書は一度に多数の資料が見られメモするのもしやすい。近くて便利な市図書館は、私の図書館と同じである。

(O様)

☆ 基本的に原文のまま掲載していますが、個人名は伏せております。

図書館から願いです…。
型紙から直接型を取らないでください！



洋服や布小物の作り方の本には、付録として型紙がついているものがあります。最近、この型紙に**直接ルレット等をあてて型を取られた跡**がある本が増えています。このような行為は、型紙が破れる原因となりますので、お控えください。型紙は**コピーをとる**などしてご利用ください。

開館カレンダー

…お休み

1 月							2 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28		

- 開館時間 ●
平 日：9 時 30 分 ～ 19 時
土 日 祝：9 時 30 分 ～ 17 時
- おはなし会 ●
会場：館内おはなしの部屋
- あんころもち (0～3才)
火 曜 14 時～
- おはなし会 (3才～)
土 曜 14 時～
- 会場：ピオ 4 階子育て支援センター
- ♡ わ・わ・わぽっとでおはなし会
毎月 第 2 水 曜 11 時～
最終日曜

としょかん日記

☆祝・図書館100周年☆
大正7年に藤津図書館としてスタートした鹿島市民図書館は12月1日をもってついに100歳になりました！「私と図書館」エピソード募集では、応募いただいた図書館とのすてきな思い出エピソードにふれることができ、これからの100年もみなさんの暮らしに寄り添う図書館であり続けられるようがんばろう！と思いを強くしたところです。
～ 100年間ありがとう＆これからも図書館をよろしく願います ～ (Y)



かしましみんととしょかんだより

みんと

2019年 第206号 1月

今月のみんと

- あけましておめでとございます
- 館長コラム
- 鹿島市民図書館 100 年記念事業報告
- 今年もやります！としょかんの福袋
- 新しい本ができました
- 冬の特大おはなし会のお知らせ
- 庭木のお手入れ講座 (報告)
- 図書館からのお願い
- 私と図書館 Vol. 13

鹿島市民図書館

一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp

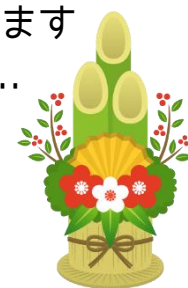
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217

2018年12月25日発行



謹賀新年

本年も鹿島市民図書館をよろしくお願います
素敵な本との出会いがありますように…



年末年始の休館のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5

※ 1月4日(金)は、
13時～19時の開館です。

「温故知新」

2018年12月1日、鹿島市民図書館は開館100年を迎えました。昨年から今年にかけて数々の100周年記念イベントを実施してきましたが、大トリを飾ったのがロバート キャンベル氏の講演会でした。通算20回以上も鹿島を訪れているというロバートさん。今回は約20年ぶりの来鹿ということで、思い出話にも花が咲きました。講演の詳しい内容は別の機会に譲るとして、非常に気さくで人なつこい人柄に、対応した職員一同、心を和ませて貰いました。当日は好天に恵まれ、エイブルホールに約280名の参加者を得て盛会の内に終了することができました。厚く御礼申し上げます。

100年という節目の年は、図書事業に携わる我々が「故(ふる)きを温(たず)ねる」絶好の機会となりました。鹿島市の蔵書文化の源流が福源寺(能古見)の滴水文庫にあり、その影響を受けて鹿島鍋島家に国内屈指の大名文庫(中川文庫)が形成されたこと、そして明治以後の近代図書事業には鍋島直彬公の遺志が強く反映されていることなど、鹿島の地には江戸時代から現在まで脈々と継承されてきた図書文化があることが分かりました。これら一連の歴史的流れは、当館学芸部が中心となって「鹿島市明治維新百五十年記念 鍋島直彬と鹿島の蔵書文化」という本にまとめています。

次は「新しきを知る」、すなわち新しい知識や見解を見つけ出す段階です。しかし、若者を中心に文字離れや図書離れが急速に進行している昨今、次世代にこれまでの英知の集積をどのような形で伝え活用していくか、また人口減少や少子高齢化が著しく進む中、市民と図書館の関係性をどう見直していくか等、難問山積の状況です。今後、試行錯誤しながら答えを探し出していきたいと考えています。

2019年は次の100年に向けた第一歩を踏み出す年となります。図書館の活動にこれまで以上のご理解とご支援を賜るようお願い申し上げます。

図書館長 前田英明

鹿島市明治維新 150 年記念鍋島直彬顕彰事業
 鹿島市民図書館 100 周年記念事業
講演会『鍋島直彬と鹿島の蔵書文化』
 平成 30 年度
全国公共図書館協議会表彰伝達式 (報告)
 2018.12.1 エイブルホール

第 1 部では、図書館長が鹿島の図書館の 100 年の歩みを紹介しました。

第 2 部では、国文学研究資料館館長のロバート キャンベルさんをお招きして記念講演「贈る、招く、伝え合うために文学はあった。～江戸時代のスクラップ・ブックを開く～」を行いました。たくさんの資料の画像をスクリーンに映しながら、貴重なお話を伺うことができました。

また、講演会終了後には、平成 30 年度全国公共図書館協議会表彰伝達式を行いました。永年、鹿島市民図書館協議会の委員として当館事業に適切な意見や助言をしていただき、図書館の発展に寄与してこられた福川清治さん、吉武弘美さんのお 2 人が表彰されました。これからも、よろしくお願いします！



左…福川清治さん
 右…吉武弘美さん
 (代理・奥様)



《昨年の福袋》

今年は市内の小・中学校、高校図書室とコラボ！

子どもたちのおすすめ本の POP が入っている福袋もありますので、お楽しみに～♡

2019 年開館初日の運だめし！！

1月4日(金)13時～ スタート!

今年も「としよかん福袋」を貸し出します♪
 中には、図書館スタッフが選んだ本が 3 冊入っています。
 どんな本が入っているかは、借りてからのお楽しみ！
 ステキなおまけも入っていますよ★
 ※ 図書館カードを持って来てくださいね！

『鍋島直彬と鹿島の蔵書文化』

鹿島市明治維新 150 年記念事業として、新たに本ができました。明君鍋島直彬が書物に込めた思いを中心に鹿島における蔵書文化の歴史を紐解きます。
 図書館で借りることができますので、どうぞ、ご利用ください！



新しい本ができました！



冬の特大大おはなし会

と き：2月2日(土) 14時～15時半

と ころ：いきいきルーム
 (エイブル1階保健センター内)

対 象：どなたでも
 参加無料・申し込み不要

◆プログラム◆
 ふゆのおはなし
 マジック
 工作
 【自分でデコレーションしてオリジナルぼうしを作る】
 <<持ってくるもの>>
 はさみ・のり



庭木のお手入れ講座 (報告) 2018.11.15 研修室



(株) 祐徳ガーデンの立川さんを講師にお迎えして、『庭木のお手入れ講座』を行いました。剪定の仕方や道具の使い方の詳しい解説と、図書館周辺の植栽にあるしだれ桜を使って剪定の実演も見せていただきました。初心者でもわかりやすいお話で、参加者のみなさんからは、たくさんの質問も！大変充実した講座でした。

新しく届いた本

『空は、』



HABU : 著
 パイ インターナショナル
 空は、「今」という一瞬。空の景色は毎日変わる。「空の景色」をテーマに 30 年間撮りためた世界のさまざまな空の写真 90 点を収録。あなたのお気に入りの「空の景色」を見つけませんか？

『ゆりかごにそっと』



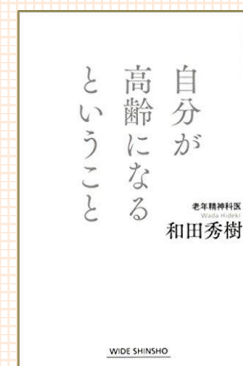
蓮田 太二 : 著
 方丈社
 バッシング、危機に耐え、130 人の命を救ってきた…。無条件で赤ちゃんを受け入れる慈恵病院「こうのとりのゆりかご」を考案した著者が、設立に奔走した道のりと、赤ちゃん、母親たちの物語を振り返る。

『こちら横浜市港湾局みなと振興課です』



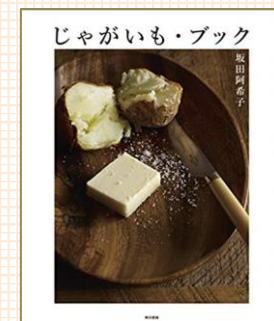
真保 裕一 : 著
 文藝春秋
 山下公園前に浮かぶ氷川丸、象の鼻パーク、コスモワールドの観覧車、外国人遺留区、横浜開港祭…。みなと振興課の名コンビが、ヨコハマに隠された謎を解き明かす！

『自分が高齢になるということ』



和田 秀樹 : 著
 新講社
 誰にでもある高齢になる事への不安。老年精神科医である著者が、高齢になれば避けられない「ボケ」を受け入れて、幸せな長生き老人を目指す考え方を解きます。

『じゃがいも・ブック』



坂田 阿希子 : 著
 東京書籍
 最高の主役であり、欠かせない脇役、じゃがいも。フライドポテト、ポテトサラダはもちろん、オープンやフライパンで仕上げる料理、みそ汁まで、じゃがいもを使ったレシピを紹介します。